

「令和元年 台風 19 号調査報告会 ～河川、気象、地盤、史学、災害医療の各分野から～」 において調査や分析結果を報告しました（2020/1/8）

テーマ：2019 年台風 19 号調査報告
場 所：名城大学天白キャンパス共通講義棟南

東北大学と名城大学が 2019 年 10 月 28 日に包括連携協定を結んだことを受けたキックオフイベントとして「令和元年 台風 19 号調査報告会 ～河川、気象、地盤、史学、災害医療の各分野から～」が 2020 年 1 月 8 日に天白キャンパス共通講義棟南で開催され、当研究所から下記の 5 名の教員が参加し、調査結果や分析結果を報告しました。本報告会は、名城大学自然災害リスク軽減研究センターが主催し、災害科学国際研究所が共催、および関係組織からの後援を受けて実現したものです。豪雨災害に関心が強くなっていることもあり、参加者が約 200 人の大きなイベントとなりました。

橋本 雅和 助教（災害リスク研究部門 環境変動リスク研究分野）：河川、気象
森口 周二 准教授（地域・都市再生研究部門 計算安全工学研究分野）：地盤、斜面
佐々木 宏之 准教授（災害医学研究部門 災害医療国際協力学分野）：災害医療
蝦名 裕一 准教授（人間・社会対応研究部門 災害文化研究分野）：史学
川内 淳史 准教授（人間・社会対応研究部門 歴史資料保存研究分野）：史学

※発表順に記載

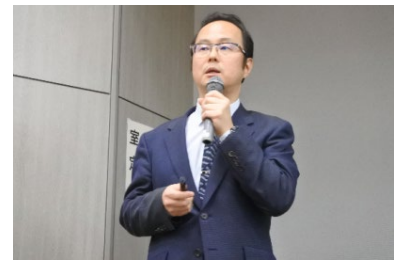
報告会の様子



橋本雅和 助教



森口周二 准教授



佐々木宏之 准教授



蝦名裕一 准教授



川内淳史 准教授



会場の様子